

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)



場所

・倉敷市林



時代

・鎌倉時代



指定年月日

・昭和31(1956)年
6月28日



所有

・五流尊瀧院



見学

見学可

ごりゅうそんりゅういんほうとう

五流尊瀧院宝塔

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



この建造物について

この宝塔は、当時、尊瀧院におられた桜井宮覚仁法親王と冷泉宮頼仁親王が、隠岐で亡くなった父君、後鳥羽上皇の一周忌供養のために仁治元(1240)年に建てたものと伝えられています。

高さ約3.8m、花崗岩製の大宝塔で、塔身は円筒、首部・高欄は一石で作られており、高欄には天女が刻まれています。

軒口の造りや軒反りには、鎌倉時代の特色がよく示されています。仁治ごろに造られたのはほぼ確かであるとされ、堂々とした姿が伺えます。